

子どもの歯と口の健康づくりセミナー

乳幼児の食べる機能の発達



【講師】
昭和大学歯学部
小児成育歯科学講座
綾野 理加 先生

食べる機能は、生まれつき完成しているものではなく発達の中で少しずつ獲得していきます。

離乳期には、離乳食を食べながら食べ物の硬さや形に応じて唇、舌、頬、顎の動きを引き出していき、その経験を繰り返すことで食べるための口の動きを身につけていきます。

そして、子どもの頃に獲得した食べるしくみを使って大人になってからも食べ続けていきます。本セミナーでは、子どもがどのように食べる機能を獲得していくのかについて身体の構造と機能の発達を中心に、3歳頃までの時期に焦点を当てお話しします。

【略歴】

- 1993年 昭和大学歯学部卒業
- 1995年 米国Tampa VA Hospitalにて Dr. Michael E. Groherに師事し、成人・高齢者の摂食嚥下障害を学ぶ
- 1997年 昭和大学歯学部口腔衛生学教室大学院生卒業
博士(歯学)取得
昭和大学にて摂食嚥下リハビリテーションに従事
- 2010年～ 香川を拠点に、病院・特別支援学校・デイサービス等で乳幼児から高齢者まで幅広く支援

【資格等】

- 昭和医科大学歯学部小児成育歯科学講座兼任講師
- 東京科学大学歯学部口腔保健学専攻非常勤講師
- 日本障害者歯科学会 代議員、認定医
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員、認定士
- 摂食嚥下障害児親の会つばめの会顧問
- 日本栄養士会小児専門管理栄養士、栄養士認定課程講師

配信期間



詳細はこちら▲

令和8年9月1日(火)～
令和9年1月28日(木)

本セミナーは、Youtube内の大田区公式チャンネル(City Ota Channel)で配信いたします。詳細は大田区ホームページをご覧ください。

問合せ： 大田区保健所 糀谷・羽田地域健康課
☎ 03-3743-4161

